

## 第 1 回浜田市総合振興計画審議会 会議録

日時 令和 4 年 8 月 9 日(火)  
午後 6 時 27 分～午後 8 時 14 分  
場所 浜田市役所 (4 階) 講堂

[進行/会長]

◆ 開会	
会長	<p>皆さんこんばんは。定刻より若干早うございますが、出席ご予約の皆様がお揃いになったということですので、ただいまから第 1 回浜田市総合振興計画審議会をはじめさせていただきます。</p> <p>昨年度より会長を仰せつかっておりますので、議事進行は私の方で進めてまいります。よろしくお願いいたします。</p> <p>さて、本日は、お忙しいところをご出席頂きまして、ありがとうございます。本審議会は、総合振興計画、定住自立圏共生ビジョン、それからまち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理について審議することとしております。</p> <p>本日は、前期基本計画の最終年度となります令和 3 年度の進捗状況についてご意見を伺うこととしております。終了予定時刻は午後 8 時 30 分までを予定としておりますが、委員の皆様のご忌憚りの無いご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>議事に入ります前に、委員の皆様にお諮りしたい案件がございます。会議の公開方法についてでございます。本年 4 月から市の「附属機関等の会議の公開」の運用に改正があったということで、オンラインによる傍聴が認められることとなりました。そこで、本審議会におきましても、当日の傍聴がかなわない方へ向けて、会議の様子を録画させていただき、後日オンラインで視聴ができるような手続きを行いたいと思っております。</p> <p>これにつきまして、委員の皆様、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ご異議ないようですので、後日、会議結果報告としまして、浜田市ホームページで公開をしていただきたいと思いますので、ご承知おきくださいますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開会にあたりまして久保田市長よりご挨拶をいただきたいと思います。</p>
市長	<p>みなさんこんばんは。浜田市長の久保田でございます。</p> <p>令和 4 年度第 1 回浜田市総合振興計画審議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>審議会委員の皆様方には大変暑い中、また、お忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、委員の皆様には、昨年度は、「第 2 次浜田市総合振興計画後期基本計画」の策定、そして「浜田市協働のまちづくり推進計画」の策定について、貴重なご意見を頂戴したところでございます。この場をお借りしまして、厚く御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。</p> <p>本日の審議会では、平成 28 年度から令和 3 年度までの 6 年間の「前期基本計画」の進捗状況についてご審議いただきたいと思いますと考えております。また、併せまして、「浜田市定住自立圏共生ビジョン」及び「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗状況につきましても、ご審議をいただきたいと思いますと思っております。</p>

	<p>すので、よろしくお願いいたします。</p> <p>国におきましては、「まち・ひと・しごと創生基本方針 2021」において、「ヒューマン」「デジタル」「グリーン」のこの 3 つの視点を重点に捉えて取組を推進するとされています。また、2024 年度までの地方創生の基本的方向を定めた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、構想の中・長期的な基本的方向を提示する「デジタル田園都市国家構想総合戦略(仮称)」を策定する方針が示されています。</p> <p>そうした中にありまして、浜田市の総合振興計画後期基本計画も昨年 12 月に策定したところですが、国の方針に基づきまして、地域課題の解決や魅力向上に資するデジタル推進などの新たな取組の追加も視野に入れ、当市の将来像である「住みたい 住んでよかった 魅力いっぱい 元気な浜田」を目指し、市民の皆様と一緒に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>本日は、これまでの取組状況や今後の取組について、忌憚のないご意見を頂戴したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>久保田市長ありがとうございます。</p> <p>市長におかれましては、ここで退席されます。</p> <p>(市長退席)</p> <p>それでは、本日の委員の出席状況等を事務局からお知らせ願います。</p> <p>あわせて、配付資料の確認もお願いします。</p>
<p>政策企画課長</p>	<p>皆様、改めましてこんばんは。今年度より審議会事務局に着任しております地域政策部政策企画課長の岸本と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ここで、本日の委員の出席状況のご報告とそれから配付資料の確認をさせていただきます。</p> <p>はじめに、委員の皆様におかれましては、昨年度は後期基本計画の策定に当たりましてご審議いただき、誠にありがとうございました。策定いただきました後期基本計画は今年度から取組を進めることとしておりますが、その進捗管理についても、計画を策定いただいた委員の皆様にご審議いただくというところで、任期を令和 7 年 3 月 31 日までとさせていただきます。大変長い期間となりますが、引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>また、そんな中ではありますが、異動等によりまして、昨年度から委員の変更が 1 名ございますので、ご紹介させていただきます。皆様に先週のところでお送りさせていただいた資料の中で、三隅地域協議会を代表して委員となっていております昨年度からの石田会長が今年度から岡田会長になられたということで、本日より審議会に参加していただいております。よろしくお願いいたします。</p> <p>(岡田委員：よろしくお願いいたします。)</p> <p>また、時間の都合上、引き続きの委員の皆さま及び浜田市執行部の職員につきましては、事前にお送りしております審議会委員の名簿、そしてその裏の執行部出席名簿の方で紹介に代えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、本日の出席状況ですが、全 25 名の委員のうち、出席委員は 20 名、そして欠席の委員は 5 名となっております。ご欠席の委員さんは、樫山委員、中島委員、岡本委員、永田委員、最後に徳田委員ということの 5 名でござ</p>

	<p>います。また、審議会条例で定めております委員の過半数が出席という会議の開催要件ですが、この要件は満たしておりますことを併せてご報告させていただきます。</p> <p>そして、議題に入ります前に資料の確認させていただきたいと思います。</p> <p>本日、事前にお送りさせていた資料で、次第と資料1から資料5、それから、本日皆様のお手元に置かせていただいたのが、先程会長さんからもご案内がありました。濱田市附属機関等の会議の公開に関する要綱、そして要領。それから、皆さんの配席が分かりやすいような配席表もつけております。</p> <p>そして最後に、委員の皆様のみですが、今日限られた時間ではございますので、委員の皆様へ後日、ご意見を書いていただくように様式も1枚つけさせていただきます。</p> <p>皆様、資料はお手元にありますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>では会長、以上でございます。</p>
<p>1 議事</p>	
<p>(1) 総合振興計画、定住自立圏共生ビジョン及び総合戦略の進捗管理について</p> <p>(2) 第2次浜田市総合振興計画前期基本計画の進捗評価について</p> <p>(3) 第2次浜田市総合振興計画前期基本計画及び浜田市定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について</p> <p>(4) 浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について</p>	
<p>会長</p>	<p>それでは、議事を進めてまいります。皆様のご協力をお願いします。</p> <p>本日の議題は、内容が関連しておりますので、議題(1)から(4)まで、一括して、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>政策企画課長</p> <p>資料1 説明</p>	<p>続いて、政策企画課の岸本より説明をさせていただきます。ここからは、着座にて説明させていただきます。では、資料1の「総合振興計画、定住自立圏共生ビジョン及び総合戦略の進捗管理について」を説明させていただきます。</p> <p>総合振興計画審議会におきましては、資料1の表面1ページにある各種計画の進捗管理につきましてもご意見を頂きたいと考えておきまして、それぞれの計画について進捗管理の概要をここにまとめさせていただいております。なお、皆様からご意見を頂戴し、昨年12月に策定しました総合振興計画後期基本計画につきましましては、計画期間が令和4年度、今年度からということもございますので、進捗管理は来年度から実施させていただくこととしております。</p> <p>では、まず計画の1つ目、第2次浜田市総合振興計画につきましましては、基本構想としましては、2016年度から2025年度までの10年間を期間としております。その期間を市長の任期と合わせて前期基本計画を6年、後期基本計画を4年ということに分けて進めていくということにさせていただいております。その前期の6年が昨年度で終了したということ、前期基本計画を進めてきたことがどうであったかということの進捗管理と、それから今後、今年度からの後期基本計画で、どのように反映させたら良いのかという点も含めて、意見交換をさせていただければと考えております。</p> <p>また、浜田市定住自立圏共生ビジョン、2つ目ですが、この計画の成果指標の32項目につきましましては、総合振興計画から抽出しているため、同じ進捗評価とさせていただきますが、同じく6年間のうち6年目の評価ということで、こちらも総括が必要となっております。</p>

そして、本市が直面している人口減少、少子化に対応するため、3つ目、4つ目ですが、浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、地方創生に資する施策を推進しているところです。この総合戦略につきましては、令和2年度には、浜田で出会い、結婚、出産、子育て応援プログラムを核とした、浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略プラスを策定し、更なる少子化対策に取り組むこととしております。

これらの計画につきましては、総合振興計画前期基本計画の終わりに合わせて、7年間という形になっておりますが、この7年間のうち、今回は7年目の進捗評価ということで、こちらも総括が必要となっております。

なおこの二つの総合戦略につきましては、これまでも一体的に取り組みを進めており、今後も同様に推進していく必要があることから、二つの計画を一本化し、皆様にもご意見を頂戴しました後期基本計画に盛り込んでおります。

ここで、すみません、資料の数字の訂正をお願いできればと思います。一番下の表で、浜田市まち・ひと・しごと総合戦略の表の中で、⑤番、地方創生交付金KPIの数を9項目としておりますが、正しくは4項目でした。9を4に訂正をお願いできればと思います。この総合戦略の計画書をもとに、国から地方創生推進交付金として、支援等をいただいておりますが、この交付金をいただいている期間が終了した事業もあったことから、⑤の数字を9項目が4項目へ訂正させていただくものでございます。申し訳ございませんでした。

ということで、進捗管理の対象計画は、以上の四つ、大きく分けると三つとなりますが、後程、まずは、総合振興計画前期基本計画の総括について、事務局より説明させていただき、この後、各目標の進捗状況について主だったものを中心に説明させていただきます。

続いて資料1の2ページ目、裏をご覧くださいませでしょうか。この進捗管理の体制につきましては、内部においては、市長をトップとしました、総合振興計画等進捗管理会議において、進捗評価の内部評価等を行って、決定したものを、外部体制であるこの審議会の委員の皆様にご意見をいただくという、そういった流れとなっているところでございます。

続いて、進捗管理のスケジュールについてです。真ん中ほどに7月19日のところで、総合振興計画進捗管理会議内部評価等をこちらの会議で行ったところです。

そして、外部「審議会」という一番右側の欄ですが、本日第1回の審議会の中で、この進捗評価等を事務局からまずは説明させていただいて、皆様に検証と意見交換等をいただきまして、そのご意見等を反映させたものを今度は市議会に報告させていただき、これが9月に予定されている市議会ですが、こちらで報告をさせていただいて、議員の皆様からご意見等を伺った後、最終的な進捗評価をまとめたものを、今度は第2回の審議会を10月の中旬に予定しておりますが、まだ日程は決まっておりません。また改めてご案内したいと思います。この第2回の審議会でご報告させていただくという、このようなスケジュールを進めていきたいと考えているところでございます。今後の開催につきましては、また改めて、会議の最後のところでご案内させていただきます。

## 資料2 説明

続いてですね。資料2を併せて説明をさせていただきます。こちらでは、第2次浜田市総合振興計画前期基本計画の進捗評価について(案)というところです。ここでは、総合振興計画前期基本計画について、まずまとめの総括を説明

させていただきます。そしてそのあと、各計画の進捗状況について、詳細を説明させていただきます。と思っております。

まず、総括の一つ目としまして、目標達成率別状況をまとめております。実績値が目標値にどれくらい近づいたかを示すのがこの表 1 ですが、ここでは、75%以上の達成率となった項目が、評価対象全 138 項目中約半数の 68 項目、割合にすると 49.3%となりました。

また、部門別では、健康福祉部門、生活基盤部門、そして、地域振興部門で、また、地域別では、金城地域、三隅地域においてそれぞれの項目の中で、75%以上の達成率を上げるなど、比較的達成状況が順調でございました。その一方で、計画策定時の実数値を下回る結果となった目標項目も全体の 35 項目、これがちょうど、右下のところですが、合計の一番右のところ、達成率が 0%未満であったところが、割合にすると 25.4%ございました。これらについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が要因の一つではないかと考えております。

次に、2 ページ目をご覧ください。こちらでは進捗評価別の状況をまとめております。目標達成に向けて計画どおりに進んでいるかどうか、これを表 2 で表しております。6 年間の取組成果としましては、A または B の評価項目が、全評価対象の 138 項目中 103 項目、割合にすると約 75%という結果となりました。

ここでいう A 評価につきましては、2 ページの下にあるとおり、「計画どおり、またはそれ以上の成果があった」というもの、または B 評価については、「計画を少し下回る成果があった」というものです。これらの項目の中には、新型コロナウイルス感染拡大以前の 4 年間に目標達成に向けて順調に進んでいたという項目、具体的にはヒラメ稚魚育成尾数の増加、携帯電話不感地域の解消などのように、感染拡大の影響をあまり受けなかったもの、或いは、ふるさと郷育ネットワーク団体数の増加であったり、UI ターン相談件数の増加のように、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも、対策を図り目標を達成できた、そういった項目もございました。なお個別の進捗状況につきましては、後程資料 3 以降の説明のところで、もう少し詳細な進捗評価を示させていただきます。

続いて 3 ページに移ります。ここでは、第 2 次浜田市総合振興計画の基本構想に掲げる基本指標というものについて記載しております。基本構想に掲げる人口、出生数、それから社会増減数の 3 つの基本指標につきましては、3 ページの上のところ、基本構想策定時の現状値と、それから 10 年後の 2025 年の目標値を記載しております。またページの下のところでは、目標を設定した当時から、年度ごとの推移を記載しておりますのでご参考ください。そういった中で、令和 3 年度、昨年度 2021 年度末現在で、人口が 51,057 人、出生数が 302 人、社会増減数はマイナス 458 人という結果となりました。2020 年度末、1 年前と比較しますと、人口の減少数はマイナス 1,088 人、出生数はほぼ横ばい。そして、社会増減数はマイナス 288 人となり、減少幅が拡大という状況になっております。引き続き厳しい状況には変わりないと、こちらでは考えております。そして、社会増減につきましては、年度別で見ますと上下の幅も広いですが、昨年度は大きく減少しております。具体的には、転勤を理由とした転出者の増が大きいということや、同伴を理由とした転入者の減ということになるなど、コロナの感染拡大による内外の人の移動が大きく影響したと考えられます。また、就職による転出者が増加していることから、地元企業への就職者数の増加に向けた施策が必要であると考えております。そして、地元企業の魅力化と

	<p>職場環境の整備に向けた施策、これについても引き続き取り組んでいくとともに、ふるさと郷育、若者を地域活動への参画といった面から、若い世代をターゲットに、地元に残りたいと思える施策に引き続き取り組んでいく必要がございます。自然増減数で見ると、死亡者数の増加傾向、出生数の減少傾向に変化はなく、自然減による人口減少が続いている状況です。出生数については、若者の減少に歯止めがかからないことがその要因の一つとして考えられております。ですので、若者が暮らしやすいまちづくりを中心とした施策の取組がより一層求められております。</p> <p>最後、4 ページ目ですが、今後の取組をまとめさせていただきました。</p> <p>本市が抱える最重要課題の一つは、人口減少です。特に若い世代の減少が著しい状況でございます。人口減少は、一朝一夕に解決できない構造的な課題であると認識しておりますが、その課題解決に向けては、多岐にわたる分野の取組を結び付け相乗効果が発揮されるよう、施策を進めていくということが不可欠です。またこの問題につきましても、受け身になるのではなく、施策を総動員して、人口減少にかかる課題に対して、切れ目のない取組を継続して実施していく必要がございます。今年度からの第 2 次浜田市総合振興計画後期基本計画の取組では、若者が暮らしたいまちづくりを目指した施策の一体的な推進を図ることとしておりますが、その実施に当たっては、これまでの課題の分析をもとに、長期的な展望を持って、政策を総合的に進めていくとともに、行政だけではなく、市民の皆さんにいろんな意見を伺いながら、進捗管理を適切に行いまして、適宜見直しを図ることとしていきたいと思っております。</p> <p>以上の概要をまとめさせていただきました。</p> <p>会長、ここからも続いてよろしいでしょうか。</p>
会長	一応、そのような予定でおります。続けてください。
政策企画課長	<p>はい。ではここからは各計画について、主立った項目の進捗状況を説明させていただきます。</p> <p>関連がありますので、ここから「資料 3」から「資料 5」まで、続けて説明させていただきますと思います。</p>
<p>政策企画課企画係長</p> <p>資料 3 説明</p>	<p>政策企画課企画係の原田です。よろしくお願いします。</p> <p>それでは、座って説明させていただきます。</p> <p>私の方からは次第の (3) の総合振興計画及び定住自立圏共生ビジョンの進捗状況と、(4) まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況についての 2 つを説明させていただきますと思います。</p> <p>それでは資料 3 をご覧いただきたいと思います。</p> <p>「第 2 次浜田市総合振興計画前期基本計画 掲載目標の総合評価」という資料をお配りしております。</p> <p>まず 1 枚めくっていただきまして、3 ページ目をご覧いただきたいと思っております。</p> <p>今年度は、先程もありましたが前期基本計画の最終年度の進捗評価ということですので、令和 3 年度の単年度の進捗状況と、前期基本計画期間の 6 年間での評価を記載させていただきたいと考えております。小さくアルファベットが書いてあるものと、大きくアルファベットが書いてあるものがございますが、小さいものが単年の評価、大きいものが 6 年間の前期基本計画の評価ということで記載しております。また、下のコメント欄には【進捗状況】と合わせまし</p>

て【前期基本計画の総括】という欄を新たに設けて、記載の方をさせていただいております。

こちらの考えをもとに先程課長から説明しました「前期基本計画の進捗評価（案）」をまとめておりますので、併せてご確認をいただければと思います。

表紙に戻りまして、1ページの紫色の表が6年間の総合評価、裏面2ページの水色の表が令和3年度の進捗状況評価になります。

1ページ目の前期基本計画6年間の進捗実績につきましては、先程資料2の進捗評価（案）で説明がありましたので、裏面2ページの令和3年度の進捗実績について、内部評価を中心にご説明をさせていただきたいと思っております。

まず「目標の進捗状況」の表、一番下に書いてある合計ですが、目標数が昨年度は括弧書きの144件となっておりますが、こちらから6件少ない138項目が合計となっております。表の中でいいますと、赤字で記載されている箇所が項目が減っているところとなっております。

その減った理由をご説明させていただきます。

9ページの方、開いていただきたいと思います。

こちらの「健康づくりの推進」のところでございますが、「健康寿命の延伸」の男女別の項目の2件と「がん年齢調整死亡率の減少」の全年齢の合計によるがん年齢調整死亡率と全がん75歳未満の年齢調整死亡率の男女別の3件、合わせて5件が、今回も新型コロナウイルスの影響で、国が作成する健康指標データの提供が遅れていることから未集計となっております。

ただ前年度も同じように遅れての集計となったことから、2020年度実績値は、今回新たに、赤字で記載させていただいておりますが、2021年度については、未集計ということで、こちらで5件減っているという状況となっております。

それともう1件になりますが、最後のページ、37ページをご覧ください。

「開かれた行財政運営の推進」というところになります。「健全な実質公債費比率の確保」というところで、公債費比率の進捗状況を確認するところがございますが、こちらはまだ確定値が出ていないということで、未集計となっております。

こちらの1件と先程の5件を合わせた6件が、今回はまだ評価ができないというところで、減ったということになっております。

それでは2ページに戻ってください。昨年度の実績といたしましては、(2)目標の進捗状況の表で、A評価が56件、B評価が39件、C評価30件、D評価13件、E評価なしという状況でございました。

括弧書きの数が、前年度の実績でございますが、前年度と比較してB評価が4.6%増加、C評価が3.5%減少し、それ以外の評価は前年とあまり変化はありませんでした。

内容を見てもみますと、「新型コロナウイルスの影響があった」という項目が約3割の47項目であり、前年度と同様にイベント、研修会の開催ができなかったというものや会合、説明の場が開けず組織化に至らなかったという評価をされた項目が多くあり、前年から伸び悩んでいる要因となっていると考えられます。中にはコロナ対策を講じて取組を実施したことにより評価を上げた項目も数件ございました。

それでは、前年度から進捗が大きく変わったもの、また項目で修正があったものを中心に説明をさせていただきたいと思っております。

ページが飛びまして、8ページをお開きいただきたいと思います。

8 ページの一番上、「宿泊客数の増加」になります。新型コロナウイルスの影響もあったが、県のキャンペーン効果や工事関係者等の長期宿泊により、宿泊者数が大幅に伸びたことから目標値を大幅に超えた 309,462 人となり、進捗評価を C から A 評価に、二つほど評価を上げているところでございます。

続きまして 11 ページをご覧くださいと思います。

4 番目の「認知症サポーター養成講座受講者数の増加」の項目でございます。

こちらは、2019 年度から目標値を 7,500 人に上方修正している項目です。コロナ禍で受講者数の増加は低調になっているが、ウィズコロナの方針で必要な対策をしながら講習を実施し、受講者数を増加につなげたことから前年度より 167 人増の 7,559 人とし目標達成、A 評価となっております。

続きまして、17 ページをご覧くださいと思います。

2 項目目の「環境出前講座の開催回数の増加」というところでございます。

2017 年度の実績値が赤字で 21 回となっていると思います。こちらは前回までの記載が「32 回」となっておりましたが、2017 年度の実績値のみ累計記載となっていることが判明したことから単年実績値に修正させていただいております。

続きまして、25 ページをご覧くださいと思います。

一番下の項目「防火講話・消火訓練実施回数の増加」というところで、こちらも新型コロナウイルスの影響のため、訓練依頼は減少したが、地震体験車が使用できたことから前年より 42 回増加し目標値に近い 52 回の実施を行い、D 評価から B 評価の方に、二つほど評価を上げております。

以上、評価が大きく変わったものと修正点について、総合振興計画についての進捗状況でございます。

続きまして資料 4 の方をご覧くださいと思います。

資料 4 は、定住自立圏共生ビジョンの成果指標の進捗状況になります。

こちらも総合振興計画と同様に計画期間が終わることから 1 ページ目に 6 年間の総合評価、2 ページ目に令和 3 年度の進捗状況結果をまとめております。本ビジョンの計画書につきましては、全ての項目が先程ご説明させていただいた総合振興計画の方から抜粋した項目内容をもとに、策定しております。評価についても、先程の総合振興計画と同じ評価となっておりますので、説明の方は、今回は省略させていただきます。

続きまして資料 5 の方をご覧くださいと思います。

資料 5、浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の掲載目標の進捗状況ということになります。

今回は当初計画期間から 2 年延長し、7 年目の最終年度の進捗評価ということになります。

こちらも他の計画同様に計画期間の総合評価と令和 3 年度の進捗評価をそれぞれ記載しております。総合戦略についても、令和 3 年度の取組について説明をさせていただきたいと思います。

2 ページ目をご覧ください。

昨年度の実績といたしましては、まず上の 2 調査結果の (1) 基本目標に当たる部分ですが、目標数が 7 項目あります。

A 評価が 1 項目、B 評価が 1 項目、C 評価が 1 項目、D 評価が 4 項目というふうになっております。

続きまして (2) の重要業績評価指標 KPI の進捗状況でございますが、重複す

#### 資料 4 説明

#### 資料 5 説明



る指標につきましては、総合振興計画と同じ評価というふうになっております。

KPIの進捗状況でいきますと、A評価が25項目、B評価が13項目、C評価13項目、D評価1項目という状況になっております。

次に、(3)の「戦略プラス重要業績評価指標(KPI)」の進捗状況でございます。こちらは、総合戦略の2年延長に合わせて令和3年2月に策定しました「戦略プラス」において、若者が暮らしやすいまちづくりの取組について8項目のKPIを設けております。進捗管理としましては、令和3年度からの取組となっております。KPIの進捗状況でいきますと、合計欄がありませんが、A評価が4項目、B評価が2項目、C評価1項目、D評価1項目という状況になっております。

地方創生推進交付金につきましては、昨年度から件数が変わっておりますが、交付金の実施計画期間が終了した事業があり件数が減ったというものでございます。

地方創生推進交付金は最後のページにあります。

「高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくり」、このプロジェクトに関する成果指標は4項目あります。こちらの項目が毎年プラス何件というKPIではなく、年度毎に目標値が設定されていることから、年度の実績値、達成率、評価を確認する表の上に「目標値」を表示することとしておりますので、他の表と違う見せ方にさせていただいております。

それでは、内容の方を説明させていただきますが、総合振興計画とかぶっているものについては、今回は省略させていただきます。総合戦略、戦略プラスのみのものについてご説明をさせていただきます。

それでは3ページをご覧ください。

企業立地優遇制度による雇用創出数ということで、石見食品やTC浜田農場の雇用増により、6人の雇用創出となりましたが、全体目標の達成には及ばなかったということで、D評価とさせていただきます。

続きまして6ページをご覧ください。

新規漁業研修者数の項目でございます。こちらは総合振興計画に同じ項目がございますが、評価が異なっている項目でございます。1年遅く始まった総合振興計画と最終年度の目標値が同じ数値であったため、総合戦略は2015年度実績の4人を含めた32人で、目標達成のA評価、総合振興計画は28人でB評価と、異なった評価となっております。

続きまして、14ページをご覧いただきたいと思っております。

交流機会の創出ということで、新型コロナウイルス感染症拡大により、イベント開催が難しかったということから、開催1回でしたが、累計25回ということで目標を達成し、A評価となっております。

続きまして、16ページをご覧いただきたいと思っております。

出生数でございますが、基本目標に掲げる数値目標となっております。

不妊治療等の助成拡充や新生児子育て応援金の新設、第3子以降保育料等無償化などの経済的支援を拡充して行い、対前年比6人の増となりましたが、D評価ということで前年と同じ評価をつけさせていただいております。

続きまして、18ページをご覧いただきたいと思っております。

社会増減数ということで、転入と転出の差になりますけれども、転入者の方が大幅に減少し、転出者も微増したことから大きな社会減となり、A評価からD評価へと2つ評価を下げております。新型コロナウイルスの影響が読みづらい

	<p>ところですが、今後も状況の変化を捉え、新たな取組を一層進める必要があるというふうに考えております。</p> <p>続きまして、21 ページでございます。</p> <p>公民館におけるふるさと郷育の実施数という項目でございます。</p> <p>こちらは新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画していた事業を中止するセンターが複数見られたことから、例年と比較して達成率が減少したということで、B 評価から C 評価の方へ評価が下がっております。</p> <p>続きまして、27 ページをご覧ください。27 ページから 28 ページまでが令和 3 年度から取組を実施している戦略プラスの追加項目になります。</p> <p>1 の出会い・結婚・出産への支援の①結婚新生活支援事業交付件数というところですが、広報はまだなどの周知に加え、婚姻届提出時のチラシ配布や未申請者に対する個別案内など積極的に制度を周知したことにより、見込件数を上回る 127 件となり、A 評価とさせていただきます。</p> <p>②認定事業所数というところでは、出会い・結婚・子育て応援事業所認定事業の実施要綱を昨年度策定し、今年度からの事業開始となったことから、実績値は 0 事業所ということで D 評価とさせていただきます。</p> <p>続きまして、③一般不妊治療費助成件数になります。昨年度から助成限度額を 10 万円に拡充し、不妊治療を受ける方の経済的支援を行いました。年間 70 件の目標値に対し、48 件というところから、B 評価とさせていただきます。</p> <p>続いて④特定不妊治療費助成件数の項目になります。昨年度から助成限度額を 125 千円に拡充し、不妊治療を受ける方の経済的支援を行い、年間 40 件の目標値に対して、大きく上回る 57 件であったことから A 評価とさせていただきます。</p> <p>続きまして、28 ページの 2、第 3 子以降の出生に向けた支援の①第 3 子以降出産祝い金交付件数という項目になります。出産祝い金は、「新生児子育て応援金」という事業名で、対象を第 3 子以降に限らず第 1 子、第 2 子も対象として実施しました。第 3 子以降の交付件数は、年間 70 件の見込みに対して 57 件の実績ということで C 評価とさせていただきます。</p> <p>次に、3 若者が暮らしやすいまちづくりの①15 歳から 39 歳までの人口というところで、10,000 人を維持するという目標に対しては、10,090 人というところで達成はしておりますが、減少数を年間 150 人程度にとどめるというものに対して、策定時からマイナス 650 人と大幅な減となっていることから、B 評価とさせていただきます。</p> <p>続いて、4 新たな生活様式への対応の①高速情報通信網市内カバー率という項目になります。昨年度は市内全域の幹線を光回線に整備したところから 100% のカバー率となり、A 評価とさせていただきます。</p> <p>最後の項目、②地域情報化計画の策定になります。昨年度に浜田市地域情報化推進計画を策定したことにより 100% の達成率で、進捗評価を A 評価とさせていただきます。</p> <p>各計画の進捗状況についての説明は、以上になります。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。それでは、質疑に入らせていただきます。最初に「資料 2」の「第 2 次浜田市総合振興計画前期基本計画の進捗評価」について、ご質問やご意見があればお願いします。いかがでしょうか。</p>

田中委員	見方がどうだったのか、分かりませんが。「資料 2」の「目標達成率別状況」の表を見てみますと、環境部門と防災・防犯・消防部門の率がずいぶん低いのと、自治区別で見ますと、金城が突出して評価が良いのが何故か分かりません。進捗状況が良いということですか。浜田自治区は 100%以上が 0%、また 75%以上が 0%ということ、とても進捗率が悪いということですかね。何か理由があるのでしょうか。
政策企画課長	すみません。事務局からです。 防災・防犯・消防部門については先程の説明には 75%以上の達成率が 50%を超えているものについて、ちょっと主だったものとして説明させていただきましたが、それで言うと、防災・防犯・消防部門については、100%以上の達成状況であるものと、75%から 100%未満の達成状況であるものの 2 つの%を合わせると約 45%ということ、50%に満たさず、他の部門に比べれば、ちょっと達成率がよろしくないということがございました。それと、自治区別、この地域別の計画につきましてはおっしゃる通り、浜田については 2 つほど評価項目がございしますが、50%から 75%未満が 1 つ、それから 25%から 50%未満が 1 つということ、それぞれの設定した目標について到達しなかったということ、2 つしか評価項目がなかったということもあるのですが、相対的に評価が悪かったということになります。
会長	重ねて何かありますか。
田中委員	何か理由があるのですか。
会長	私の方から発言しますと、自治区別の計画は、それぞれの自治区で選ばれた指標が随分色合いが違うものがございます、それによる影響があるのかなと思っております。事務局の方はいかがですか。
政策企画課長	そういったことでよろしいかと思えます。
会長	その他いかがでしょうか。 この進捗評価についての案は、委員の皆様にお送りする前に一応見せていただいておりますが、私自身、精査する機会がなかったので、後で気が付いたところがございます。 田中委員がおっしゃった部門別或いは地域別の評価について、部門別の良し悪し、地域別の良し悪しを議論することは本当に良いのかなというところがあります。その記述ですが、1 ページの「目標達成率別状況」の 2 つの段落をご覧くださいと、前半部分で全体のことが記されていて、後半部分が部門別・地域別のある意味良し悪しが記されていて、いくつかの部門や地域は順調なのだという記述があると。その後、計画策定の数値を下回る結果を見られましたという記述がありますが、これは再び全体の話になっていて、少し話の流れが分かりにくくなってきているのかな、というふうに読ませていただいたところです。 事務局は今の私のコメントに、どのような意見や考えをお持ちになられたかをお聞かせ願えたらと思います。
政策企画課長	はい。確かに部門別のところでは、私の方で、健康福祉それから生活基盤、地域振興が 75%以上のものが、データの 50%を超えるというところでしたが、これを、全体の項目から見ると、確かに、50%を超えているという評価が、一部矛盾するといえますか、部門別のところだけで見ると、それぞれの項目だけ見ると、そういう評価なのですが、全体の中から、部門を見るとちょっと誤解

	<p>を受けるような印象がございます。そうした中で、一方というところで記載をしておりますが、計画策定時の数値を下回る結果を 35 項目、これは全体としてのところになるので、ちょっとこの対象がいまいち分かりにくいというところもあるので、ここの表現をまたアドバイスいただきながら変えてみたいと思っておりますが、ちょっとこれは皆さんに、もう事前に資料をお送りしていたところのだったので、直すまでには至りませんでした。今後この表現については検討したいと思っております。</p>
会長	<p>ちょっと補足をさせていただきます。会議の前に感想を事務局にお知らせしたので只今のような説明になっておりますが、ちょっとこの表現は整理させていただきたいと思っておりますので、願わくは、会長・副会長の方にお任せいただければと思います。</p> <p>その他、ございませんか。</p>
岡田委員	<p>三隅の岡田です。私は初めてなので、少し教えていただきたいところがあります。</p> <p>資料 2 の進捗評価について、(案)ということで総括があります。その下から 4 段目のところ、75%以上達成率を上げた項目は全体 50%と言うような書き方をしております。この 75%というのは、何か基準をもって 75%の数字を示しているというところではないかと思っておりますが、これの理由といたしますか、なぜ 75%なのかというところを教えていただきたいと思っております。</p> <p>それから、同じくそのページの文面の一番下の行のところ、新型コロナウイルス感染拡大の影響が要因の一つではないかと考えられるということですが、これは原因を究明されてないということでしょうか。その 2 点をお伺いいたします。</p>
政策企画課長	<p>はい。事務局です。</p> <p>先程、1 点目につきましては、ちょうど林会長さんからもあった表現のところですが、75%以上の達成率を上げた何か基準が特にあるというわけではございません。概ね達成できたというところで、75%を例に挙げさせていただいたところなんです。それからもう 1 つの最後のところ、新型コロナウイルス感染拡大の影響が要因の 1 つではないかというところは、コロナの拡大の影響も 1 つあると思われるのですが、それぞれの要因についてはそれぞれの項目で異なりますので、そこは一概には言えないのですが、あくまで要因の 1 つとして、この急拡大があったコロナの影響も一部あったというところでこの表現にさせていただいたとのことなんです。これも併せて会長からもご提案ありましたとおりで、表現のところはまたちょっと、会長、副会長にご相談させていただきたいと思っております。</p>
岡田委員	<p>ありがとうございます。何かということになると原因がわからないけど、そうなのかなあというような感じに映り込められかねないということがありますので、内容を精査して、要因があるのであれば、一部コロナの原因というような書き方がよろしいのではないかとこのように思いました。</p>
政策企画課長	<p>承知しました。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。他にございませんでしょうか。</p> <p>宜しいでしょうか。また後程お気づきの点がございましたらお知らせいたたくとして、資料 3 の方へ移っていただくのと、ちょっとボリュームがありますので、仮で部門別に 1 つずつ見ていきたいと思っております。この進め方がうまくな</p>

	<p>ければまた修正をかけますけれども、まずは資料3の総合振興計画ですね。「1、産業経済部門」について、何かご意見はございませんでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>すぐには出ないかもしれませんが、一旦先に進めさせていただいて、「2の健康福祉部門」でございせんか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>いかがでしょうか。「3の教育文化部門」。</p> <p>(意見なし)</p> <p>ちょっと今のところ、部門別に順を追って見ていこうとしています、むしろあまり部門を限らずご発言いただいたほうがやりやすいですかね。どうでしょう。では、ちょっと全体的に見ましようか。部門を限ることなくちょっと議論したいと思います。もう事前にお目通しいただいていると思います。委員の皆様、ご関心の分野がそれぞれ違うかもしれませんが、特に分野限らず資料3総合振興計画の進捗状況に関する事柄について、ご意見、ご質問を承りたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>無いようでしたら、ちょっと私の方から発言をいたします。この発言は事務局とは相談しておりませんので、悪しからずよろしくお願いいたします。</p> <p>この進捗状況の表は、これまで委員の皆様もお感じかと思いますが、複雑で分かりにくいところがあるというふうに思います。評価報告の内、事業や取組を実施する場合は確実に達成率が上がっていく項目もあれば、外部要因に左右されて思ったように進まない項目もあります。そういう中で、ABCDEの評価と数字の達成率が別ものだという整理をしてみましたけれど、全く個別であっていいのかということ、ちょっと議論の余地があるのかなと思っています。素朴に、進捗評価ABCDEの方の内容を見ますと、Cは計画の半分程度の成果実施となったという表現になっていて、例えば、達成率がマイナスに落ち込んだところでも、Cという評価がついているところは、一見、市民の皆様から違和感を持って捉えられる恐れがあるなあというふうに思っています。恐らく、評価項目と達成率とどのような取組をしていって、どこの取組ができたか又はできなかったかということが、多分2つレベルがあるのではないかなと思うんです。この前期基本計画のところまでこのスタイルでやってきておりますので、今ここで変えましょうという話ではないですけれども、後期基本計画に向けて少し工夫をしていく余地があるのではないかなあという気がしていることを発言させていただきます。そのことを受けて何か事務局からコメントはありませんでしょうか。</p>
<p>政策企画課長</p>	<p>事務局です。この評価につきましては、事務局でそれぞれの事業を見ながら評価しているのではなくて、目標設定された担当部署で、それぞれ評価をしていただきました。ただ、評価の理由に疑義があったり、あまりにも前年との評価がかけ離れていたりするようなものについては、事務局の方から各担当部署に照会をさせていただいて、この評価の理由も確認させていただいたところで、会長のおっしゃるとおり、この評価については一部どうなのだろうというところもありますが、我々もちょっと目が慣れてしまっている、客観的に皆さんから、審議会委員の皆さんがご覧になられて、この進捗状況説明の中でこの評価はどうなのだろうというのが、もしお気づきの部分があれば、我々もちょっと視点を変えて見てみたいと思いますので、またこの会議の最後にも説明を</p>

	差し上げますが、様式を設けていますので、ここの評価はどうなのだろうというものがあればですね、ご指摘いただければと思っております。以上です。
会長	はい。ありがとうございます。 ただいまのその辺のご説明を受けて、委員の皆さんが、今気が付いたことがあるということであれば、ご発言いただければと思えますけれども。
奥野委員	先程の評価のところなのですが、AからEまでありますけれども、E評価がどこにもされていないので、E評価の存在の意味がよくわからないなと思ったのですが、Dの「計画を大きく下回る成果となった」とEの「ほとんど成果がなかった」の違い、どういう判断基準なのかなというのがわからないところだったのですが。
会長	何か判断の基準みたいなものがあったら教えて頂ければと思います。
岸本課長	はい。この評価項目については数字でぴたっと出て、その範囲でここならDとかここならEというのがあれば、一番分かりやすいと思うのですが、なかなかこの明確な数字というものが無い中で、我々だけでなく各担当部署も評価に迷ったところもあるかと思えます。ただE評価につきましては、我々の認識としては、その計画目標に対して全く何もできなかった、外部要因があったとしても何も実施できなかったというところは、明らかなEだと思いますが、何らかの対策をして、何らかの事業を実施して、それでもやむなく計画を下回る結果となったものについては、D評価というようなところにさせていただいています。 ちょっと表現が曖昧で申し訳ございませんが、おっしゃることは分かります。評価基準については後期基本計画につきましても、また皆様にご審議していただくこととしておりますが、この評価表自体の見直しというのも、今後検討していきたいと思っておりますので、また今のようなご意見をいただければと思います。
会長	他にございませんか。
阪田委員	はい。そういうことであれば、例えば健康医療のところでも、5番の障がい者福祉の充実のところなんですけど、ずっと0でCですよ。アクションは多分起こしていらっしゃるんでしょうけど成果がないという、先程のようなコメントであればDという形での判断の方がよいかと思えます。成果が出ていてもCのところもありますし、少しでも変化があったらDのところもありますけど、何も変化がなくてもCというのは多分、私らが見ても疑問に思うんですけど、一般の方から見たらもっと疑問に思われるのではないかなという気はするのですが。
健康福祉部長	健康福祉部です。 こちらの方はですね、12ページの一番上の1になるんですけども、そこに進捗状況と前期基本計画の総括ということで、ちょっと記載をさせていただいております。 実質的に地域生活支援拠点というものはできなかった、それに次ぐ整備には至らなかったんですけど、地域の事情を踏まえた複数の機関から分担して、機能を担う面的整備型で拠点の整備を進めることといたしたということで、実施要綱を定めて今後それに向けてやっていく、また新たな展開を求めているというところで、C評価ということにしております。実質的にはできてないので0だけれども、更にもうちょっと違うやり方でできる方法を考えて今動いている

	というところで、C評価にさせていただいております。
会長	委員、重ねてご発言いただけますか。
阪田委員	大変申し訳ないです。自立支援協議会の会長として出ているんですけど、なかなか面的整備ができていないのかなというのが率直な気持ちです。ですから、新たな取組を模索していらっしゃるのとは文面から何となく感じられるんですけど、それを一般の方がそういうふうに理解していただけるのかどうかというところを考えると、やはりここはCというところの判断基準を考えたときにちょっと、無理すぎるのかな。形としてまだできてなくて、これに向けてやっているんですけどいうのを見ていただく分には、D評価でもいいのかなという気はしています。
会長	現場で働いておられる方の気持ちを考えると、なかなか厳しい評価をしがたいところがあります。ここはやっぱり、それなりの評価をしていただいて、新たな展開を始めるのだという、書きぶりもあっていいのかなと思います。ちょっとご検討いただければと思っております。 それからコメントですが、達成率が低いようなところは、しっかりと進捗状況とか総括のところ書き込んでいただいて、今後こうするんだというところをお示していただくのが宜しいかなと思っております。 その他に、委員の皆さんから何かありますか。
岡山委員	以前にも申し上げたかもしれないんですけど、例えば、10ページの3の子どもを安心して産み育てる環境づくりのところの、子育て世代包括支援センターの施設の増加というところは、もう1回できてしまったらなくなることはあんまりないんじゃないかなというふうに思うので、隣の4番目の高齢者福祉の充実の地域包括支援センターの数のところもそうなんですけど、数だけで見たらずっとA評価になるのは当たり前のことかなというふうに思うので、是非もう数字が変えられないのであれば、総括のところ詳しく書いていただいて、環境が整って今だんだんこういうふうに進化している最中だ、みたいな書きぶりをしていただくと良いと思います。単純に数字を見ただけで、満足されているのかなって印象を受けるかなというふうに思いましたので、是非どういうふうに内容が変わっていったかとか、充実してきたかというのを書いていただければなというふうに思いました。
会長	はい。ご対応いただければと思いますが、何かコメントはございますか。
政策企画課長	事務局からです。今、例で挙げていただきましたが、全ての評価項目について、もう達成して進捗がないと思われるもの、あるいはその後の更なる目標を掲げているようなものもあるかもしれませんので、そこは各項目の総括の欄で、それぞれの部署により記載を今後させていただきたいと思っております。 ありがとうございます。
会長	はい。その他にございませんか
宮本委員	健康福祉部門のところで、コロナの関係で評価は全然出ていないのですが、やはりがん検診でいうと浜田は検診料が無料ということで、これはすごく大切なことをやっておられるんですけど、この検診にかかっておられる人数的なところは出ないのかなと常に思っているんですけど。難しいかもしれませんが、がん検診を受けている又は定期検査を受けているところの何か数値が出たら何か見る形も違うかなと思いました。それから11ページのところのシルバー人材センターのところなんですけどC評価になっているんですけど、これはコロナも

	<p>あって会員が増えないというところではありますが、でも受託件数だとか契約金額については大幅な増加を見せているってということもあるので、市は何か厳しい感じがしています。シルバーという形の人材センターでありますので、D 評価はどうかと感じ取ったところではありますが、いかがでしょうか。</p>
会長	<p>それぞれについて、コメントがありますか。</p>
健康福祉部長	<p>健康福祉部です。最初のがん検診のところ、評価の基準を変えるというのはちょっと今のところは難しい、もう前期計画で出ておりますので、難しいかと思えます。また、がん検診の受診者数等はまた別のところでしっかり出しておりますので、そちらの方を見ていただきたいと思えます。</p> <p>続いて、シルバー人材センターの会員数の増加ということで、目標を設定させていただいております。総括では、会員数は減っているけれど、しっかり動いていただいているということは記載させてもらってまして、しかし、会員数の減が最近著しいとまではいかないんですけれども会員数の減少がみられるため目標設定からいうと C 評価ということで、こちらの方は厳しくなっていますので、健康福祉部内でも段階を調整させていただきたいと思えます。</p>
宮本委員	<p>はい、分かりました。ありがとうございます。</p>
会長	<p>その他にございませんでしょうか。</p>
佐々木委員	<p>先程、阪田委員が言われたご自分の範ちゅうである内容だと評価は甘いんじゃないかということ、今の宮本委員が言われたこの評価は厳しいんじゃないかというのが、この ABCDE 評価っていうその計画に対する評価っていうふうに概要で説明があるのが、数値目標に対しての評価なのか、その評価をしたんだけど結局内容はもっと突っ込んで色々やっているからというふうに、進捗状況で1文2文加えることでそのランクが上下するって評価の仕方だと、それは1つ1つ精査してみないと分からない内容なのに、ABCDE っていうふうに単純に5段階評価で決めてしまうのはどうなんだろうと思ったのですが、数値目標に対する評価だったら、厳しくそれは評価してもらったらい、だけど、それに対してもここは拡充していく、ここは頑張るってところを丁寧に書かれるのはいいと思えます。</p> <p>あと、この表に対して林会長も言われていますけど、すごく見づらくて、カラー刷りしていただけるんだったらもうちょっと色を多彩にさせていただいたかったという。その網掛けの部位分が、目標値を上方修正した下方修正したってところで段が増えているので、中身を見ようと思ってもずれてみていけないといけないので、すごく見づらいですね。なので、それをもうちょっと見た人がこうだっって見やすいように表を変えていただければなって思えます。以上です。</p>
会長	<p>事務局からコメントをお願いします。</p>
政策企画課長	<p>はい。評価表については重ねてになりますが、やはり分かりにくいというところも貴重なご意見として受けとめたいと思えますので、評価表については、評価方法も含めて今一度検討して、また皆さんにお示しできればと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>現実的には、前期計画についてはこのスタイルで行かざるをえないのかなと思えますが、おそらく後期計画の時には、工夫をしていただくことになるのかなと思っております。そのようなことでご理解ください。</p> <p>他にございませんか。</p>



田中委員	<p>はい。すみません。</p> <p>16 ページの文化財の規定と登録件数の増加というところなんですけれども、これは 2016 年度が 66 件、2017 年度が 66 件。2018 年度が 68 件で 50%、2019 年からずっと 73 件、175%とあるのですが、これは毎年 73 件増えているということなんですかね。それとも、これはずっと横ばいなのに A 評価ということですか。どう見るのでしょうか。</p> <p>文化財の指定と登録件数の増加というところなのですが、175%ということは、175%増加しているという意味なのだろうと思うのですが、何を基準にして 175%なののでしょうか。何を基準にしてずっと増えてきているのでしょうか。これじゃわからないのですが。</p>
教育部長	<p>教育部長です。</p> <p>73 件になったところで 175%の目標に対してなったということで、あとはなってるということで、その目標を超えてということで A 評価ということですか。</p>
会長	<p>これがなかなか難しいところでして、この計画期間に当初 66 件だったのを 70 件へ、4 件増やしたいということになります。4 件に対してどれほど増えているかっていう話なので、例えば 2018 年度をご覧いただくと、68 件で 2 件増えてます。増やしたい 4 件の内 2 件増えているため、50%です。ただ、次の年は 73 件なっていますので、7 件増えました。4 件増やしたいという計画に対して、175%達成率というようなことになっています。</p>
田中委員	<p>そうしますと、2019 年度も 2020 年度も 2021 年度も 7 件や 4 件増えているのですか。</p>
会長	<p>いえ、この数字はその年々の総数ですので、増分ではありません。既に 2019 年に 73 件に到達しているのです、その後はそういう読み方になります。</p> <p>他にございませんか。</p>
森脇委員	<p>すみません。失礼します。</p> <p>14 ページの「自分には良いところがあると思っている子どもの割合の増加」という項目がありますが、私が勉強不足で分からないので教えてもらいたいののですが、そもそも目標値を作るのに基準のようなものがあるのかということ、点数とか人数とか明らかに数値で表現できるものではないので、なかなか ABC 評価っていうのが難しいのではないかと。例えば、「人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている子どもの割合の増加」というのも、本当は恐らく 100%であるべきだし 100%であって欲しいんですけど、95%とか 96%とかで、目標値ってどのように決めているのかということと、じゃあこれが何%になればいいのかっていうのを、どういうふう決められるのかなということと、点数とか人数とかそういうのと若干違うような感じを受けるのですが、その辺の評価方法とかっていうのはお考えがあつてのことでしょうか。</p> <p>今更なんですけど、すみません。お願いします。</p>
教育部長	<p>教育部長です。</p> <p>先程のこの数字については、学力状況調査の中でアンケートのような形式の回答があつて、それを数字にしているということですか。それで、自分の良いところがある、自己肯定感が高いということは、教育効果という意味で意味のある数字だと考えており、これを高くしたいと考えています。</p> <p>そして目標設定については、おっしゃるように 100%が理想であるけれども、現状を踏まえてそれを改善していくという意味で目標を設定して、その改定に</p>

	<p>努めているということで評価をしているところです。</p> <p>100%目指すべきだから100%にしてしまうと、常に達成できずBやCの評価しかない。1,000人がいて1,000人が、この答えをするということはなかなか難しいので、この辺での現状を改善していくという意味で、目標を設定しているということです。</p>
会長	委員、重ねてご発言がありますか。
森脇委員	<p>はい、分かりました。ありがとうございます。</p> <p>集計するものなので、ぶれとかばらつきはあるのだと思うのですが、なるべく、その90何%まで持っていったらえれば。ただ、先程も言いましたとおり、確実に数字が出るものと一概に比較するというのは、どうかなというのは気持ちとしてはありますけど、このままいくのか、その辺の評価方法というのをご検討いただければと思います。</p> <p>以上です。ありがとうございました。</p>
会長	はい。その他にございませんか。
教育長	<p>教育長の岡田ですけども、先程おっしゃられた内容ですが、この%っていうのは学力調査に合わせて行う意識調査で、数字っていうのが明らかに出ています。その数字を追っていくということで、今回目標値を掲げさせていただいていまして、先程部長が話しましたように、今回6年の計画で、現状を踏まえて策定当時からどこまで上げようかというときに、100%というより、着実にステップアップはするのですが、ある程度超えられそうなところを目標設定とさせていただいたということです。</p> <p>なお、今回後期基本計画を策定していますので、その時に、果たしてその目標設定の割合がいいかどうかというのは教育委員会の中でも議論して、当初よりは少し高めようというような議論がしっかりしていますので、できれば、100%になるべく近づくようにしたいと思っていますけれども、その辺りの達成に向けての努力できるだろうという目標を掲げているということでご理解いただけたらと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。その他ございませんでしょうか。</p> <p>また、お気づきの点がございましたら、後程ご発言いただいても宜しいかと思えます。定住自立圏については総合振興計画とリンクしていますので、省略させていただきまして、資料5になります。「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗状況についてご意見或いはご質問を承りたいと思えます。いかがでしょうか。</p>
岡田委員	<p>27ページの「出会い・結婚・出産への支援」というところで、不妊治療助成件数の目標値があって、結果があって、評価があってというふうになっておりますが、一般も特定も不妊治療に対してのこの目標値がすごく違和感があって、全ての市民の方が対象になるわけではなくて、妊娠出産の年齢の方についても全てが対象になるわけではなくて、これを必要とされる方がどのくらいいらっしゃるかって、そのうちのこれを利用された件数を明確に出ているわけですが、これを数値化することになった経緯を教えてくださいたいと思うのですが、よろしくをお願いします。</p>
健康福祉部長	<p>健康福祉部です。</p> <p>この「出会い・結婚・出産への支援」ということで、浜田市はそれより前から不妊治療には力を入れておりました。先程言われましたように、件数を見る</p>

	<p>のではなくて、こういうことをやっているということを市民の方に周知しなければいけないというところから、目標設定をさせていただいております。知らなかったということがないように、まずこういう計画の中に入れて、皆さんに知っていただく。知っていただくことによって内容に取り組んでいただく場合も出てきますし、浜田市独自の助成制度もやっておりますので、そういうことも周知していくというところで、そのことによって出産に繋がれば、またそれはそれでいいかなということで、この中に入れさせていただいております。</p>
会長	<p>委員、重ねてのご発言はありますか。</p>
岡田委員	<p>目的といいますか、周知が目的でということは理解できますが、この評価が、例えばB評価がC評価になったりD評価になったりしたら、どのような対策をされるのかというところもちよっと気になるころではありますが、今後のこととなりますけども、この計画の中に入れると、評価でABCが出るのはある程度の仕方がないのかなとは思いますが、不妊治療に関しては、何か目標値を立てるというのは不適切かなというふうに思いました。</p> <p>周知をするのであれば他の方法も多分あると思います。これは計画を実施されたその成果でありますので、これをどうこういうところではないんですけども、今後の計画の実施にあたって少しご検討いただければというふうに思います。以上です。</p>
会長	<p>浜田市としては重要な施策の1つなんだろうということと思いますが、デリケートな事柄でもありますので、受け止め方が様々ということがありそうです。重ねてご意見ありませんか。</p>
上野委員	<p>先程の不妊治療のところ、2019年基準値が63件、目標が350件で、現状値の48件というのは、63からプラスの48件だったということでしょうか。見方が少し分からなくて。350件の目標に対して48件まできているということでしょうか。</p>
健康福祉部長	<p>進捗状況のところに書いてありますように、累計で350件までいきたいというところで、1年当たり70件を目標に申請をするということで、そのうちの48件認定はあったということで、進捗状況を記載しております。</p>
上野委員	<p>目標350件に対して48件まで来ているということですか。63件のところが48ですか。この表記がちょっと分かりにくいなと思います。2019年度は63であったよということですか。分かりました。</p>
会長	<p>はい。その他にございませんか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>資料は事前にお届けをさせていただいておりますが、これを、短期間で精査をするのは難しかったらというふうにも思います。そこで、すでに事務局からお知らせがございましたとおり、意見を記入できるような用紙を準備いただいております。</p> <p>もし今後、お気づきの点がありましたら、8月15日までに事務局政策企画課までご提出いただきたいとのことです。この点よろしく願いいたします。重ねてお伺いします。全体を通して、この場で発言なされたいことがあれば、お受けしたいと思っております。いかがでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>本日頂きました意見、今後事務局の方へお寄せいただきます意見の中に、協議した方がよいという重大な事柄がありましたら、別途審議会を開催させてい</p>

	<p>たゞきますが、もしそこまでは至らないと、それほど重大な事柄はないということでありましたら、修正については会長、副会長にお任せいただきたいと思います。お任せいただいて、事務局と調整の上、次の第 2 回の審議会でお示しさせていただきます。そのような進め方でよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>お認めいただいたこととさせていただきます。ありがとうございます。</p> <p>続きまして、事務連絡を事務局からお願いしたいと思います。</p>
企画係長	<p>はい。それでは「2.その他」につきまして説明の方をさせていただきます。こちらの方から 3 点ご連絡をさせていただきます。</p> <p>まず 1 点目は、先程林会長からご案内いただきました、様式によります意見集約についてでございます。本日机の上に「総合振興計画、定住自立圏共生ビジョン、総合戦略の進捗に対する意見について」という用紙を一枚置かせていただいております。本日、こちらの場で言えなかった意見、出せなかった意見につきましては、こちらの様式をご利用いただきまして、8 月 15 日月曜日までのところで、政策企画課までご提出をお願いいたします。意見のご提出につきましてはその様式によらず提出いただいても構いませんので、よろしく願います。</p> <p>続きまして、2 点目は今後のスケジュールでございます。皆様からいただきましたご意見について、会長、副会長と協議をさせていただき、重大な協議案件、事項がありました場合は、別途会議開催のご案内をさせていただきたいと思っております。重大な協議事項がない場合につきましては、先程説明しました資料 1 にてできました、10 月上旬に第 2 回審議会を予定しております。日程につきましては決まり次第、通知をさせていただきますが、内容といたしましては、総合振興計画進捗評価の最終報告というところで、本日のご意見、提出いただきましたご意見をもとに修正した点の報告、それと、協働のまちづくり検討部会の方から報告と意見交換というものを予定しております。後日、ご案内をさせていただきますので、ご出席を頂けますようよろしく願います。</p> <p>(委員報酬についてのお知らせ)</p>
会長	<p>はい。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、次回の審議会の開催予定等についてご説明いただきました。委員の皆様からご質問あるいはご意見がありましたら、どうぞご発言ください。よろしいですかね。</p> <p>(質問なし)</p> <p>そうしますと、次回の審議会については改めて日程等お知らせすることになるかと思っております。本日の予定は以上ですが、委員の皆さまから何かありますでしょうか。では事務局はいかがですか。</p> <p>そうしますと、これで終了ということにしてよろしいでしょうか。</p> <p>それでは副市長よろしく願います。</p>
副市長	<p>副市長の砂川でございます。</p> <p>本日はお忙しい中、長時間にわたりまして熱心にご議論いただきましてありがとうございます。特に前期基本計画の最終年度ということで、進捗評価をまとめていただいたこの資料を見ていただきまして、私も見まして分かりにくいなというのを感じました。これはもうこういうやり方でずっときております</p>

	<p>ので、この方式でやらしていただくということをご理解いただければと思います。ただ、後期基本計画、スタートしておりますけど、今度のその評価の仕方は、今日いただいたご意見をしっかり踏まえて、分かりやすくもう少し見やすい評価の仕方にしたいと思います。</p> <p>林会長には、この前期を作る時からずっと関わっていただいております、会長もよくご存知なのですが、最初はもうちょっと項目も少なかったんですけども、だんだん色んなご意見をいただくにつれて、このような何か色々%が入ったり、いろんな評価項目が入ったりということで、だんだん分かりにくくなったなというのを感じているところでございます。是非、後期については、また皆さんに進捗管理をしていただきますので、少しその辺の見直しをしながら、少しでも分かりやすい評価ができるようにしたいと思います。</p> <p>それから、なかなか数値で評価のできないものについて今日もご意見がありました。基本的には、総合振興計画の各部門で特に力を入れてある事業についてピックアップしてここに載せておりますので、全てが数値で出せるものだけではないものも当然ございます。それを何とか数字にしたいということでこういうやり方をしているわけですが、主観的なものが入ったりして、先程ありました、これがCなのかBなのか。担当課が出したものが正しいとは限りませんので、今日いただいたようなご意見で、当然評価を変えるということをしていきたいと思っております。</p> <p>最初スタートしたときは、もっともっと厳しく甘いと、自分たち執行部、内部は甘い評価が多いというようなことでだいぶご指摘もいただいて、その辺は、だいぶ担当部も少しずつは慣れてきたと思うのですが、まだまだ足りないところもあります。</p> <p>しっかりこれから今日いただいたご意見を踏まえて、まず前期計画を仕上げていき、後期につなげていきたいと思っております。また色々なご意見、後日紙でも出していただくようになっておりますので、是非しっかりご意見いただいて、参考にさせていただきたいと思っております。本日ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>どうもありがとうございました。皆様のご協力のおかげで、予定よりも早うございますが、活発な議論がなされたというふうに思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは以上を持ちまして審議会を終了したいと思います。ありがとうございました。</p>

(午後 8 時 14 分閉会、所要時間 1 時間 44 分)